

企業局事業見直しに関する取組について

企業局事業見直し実行計画（平成25年9月策定）の平成25年度までの主な取組の実績は、以下のとおりである。

事業名	工業用水道事業
-----	---------

【 目 標 1 】

工業用水の安定供給及び経営基盤の安定

◇平成25年度の主な取組

実施項目等 (実行計画より転載)	平成25年度の実績	左記に対する 評価等
1 健全経営の維持	<p>常に適正かつ合理的な運営に努めて、安定給水を図り、また、企業局工業用水道課及びいわき事業所のHPを適切に更新するとともに、モニタリング情報、経営状況等について受水企業への適時適切な情報公開に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの適宜更新 ・工業用水道利用者協議会等において経営状況（決算状況）、工事計画等を説明 ・放射性物質のモニタリング(週1回)結果を、実施の都度各ユーザーへ情報提供 <p>企業債について借換債を発行して適切な繰上償還を行い、経費の縮減に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・償還額 451,868 千円 ・借換債 409,500 千円 ・利子支払縮減 55,655 千円 	計画どおり実施
2 一層の外部委託の実施及び専門性を持った人材の育成	東日本大震災等を踏まえた上で、外部委託の推進と専門性を持った人材の育成に向けて「工業用水道管理運営計画」の見直しに着手するとともに、より適切な施設設備の維持管理手法等についての研究を行った。	概ね計画どおり実施
3 原子力災害により被った損害の賠償金の確保	<p>モニタリング費用関係（平成24年度分）及び逸失利益関係（平成23年度、24年度分）の請求を適時適切に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・請求額 74,821 千円 ・受領額 32,975 千円 <p>《23年度～25年度請求金額等累計》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・請求額 76,191 千円 ・受領額 34,346 千円 	計画どおり実施

◇平成26年度を取組方針

- 次期料金改定（適切な料金設定）に向けた受水企業へのアンケート調査等に着手する。
- 現状等を踏まえた「工業用水道管理運営計画」の見直しを行う。
- 引き続き原子力災害に係る適時適切な損害賠償請求を行う。

【 目 標 2 】

災害に強い工業用水道施設整備の計画的な実施

◇平成25年度の主な取組

実施項目等 (実行計画より転載)	平成25年度の実績	左記に対する 評価等
1 より災害に強い工業用水道施設整備の計画的な実施	<p>管路の複線化、復旧資材の備蓄の充実等については、工業用水道施設設備に係る中長期計画の年度計画どおり進んだが、水管橋の構造強化等については、入札不調等により計画どおり進まなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管路複線化、復旧資材の備蓄等 <ul style="list-style-type: none"> ▶導水管相互連絡設計調査委託の実施 ▶備蓄材倉庫設計委託の実施 ▶自家発電設備更新実施設計の実施 ▶隧道点検委託、機器補修、管路等補修の実施 ・管路及び水管橋の構造強化 91% <ul style="list-style-type: none"> ▶管路 99.6% (86,743m/87,100m) ▶水管橋 81.8% (27橋/33橋) 	<p>継続的な取組が必要 (管路及び水管橋の構造強化のH25年度目標：98%)</p>

◇平成26年度を取組方針

○工事等の早期発注（前倒し）を意識しながらの適切な事前準備、執行管理の下、より災害に強い施設整備を計画的に実施する。

【 目 標 3 】

相馬・好間工業用水道の未売水の縮減

◇平成25年度の主な取組

実施項目等 (実行計画より転載)	平成25年度の実績	左記に対する評価等
1 新たな需要開拓の推進	<p>好間工業用水道については、いわき市とともに、アンケート調査（工業団地内 57 社）や企業訪問(工業団地内 13 社)等を実施し、契約実績は得られなかったものの新たな需要開拓（未売水縮減）に努めた。</p> <p>相馬工業用水道については、関係機関との情報共有に努め、適時適切に新規受水希望企業からの給水相談等にあたり、新規契約を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規契約 1 社 ・新規申込 1 社 ・契約率 68.2% <p>※新規契約 1 社（600m³/日）については、H25.12.4 に給水契約締結しているが、給水開始予定が H27.4.1 であるため、契約率には含めていない</p>	<p>継続的な取組が必要</p> <p>概ね計画どおり実施</p>

◇平成26年度の取組方針

- 好間工業用水道については、いわき市を始め関係機関との協力の下、引き続き新たな需要開拓に努める。
- 相馬工業用水道については、現在、複数の給水相談を受けており、関係機関との協力の下、給水契約締結に向けて努力する。

【 目 標 4 】

好間工業用水道のいわき市への譲渡

◇平成25年度の主な取組

実施項目等 (実行計画より転載)	平成25年度の実績	左記に対する評価等
1 いわき市との協議	いわき市と4回の情報交換会を実施し、情報共有等に努め、早期実現に向けての話し合いを行った。	計画どおり実施

◇平成26年度取組方針

○引き続き譲渡早期実現に向けての情報交換会等を積極的に実施し、具体的な譲渡事務手続きにつなげていけるよう努力する。

事業名	地域開発事業
-----	--------

【 目 標 1 】

復興に向けた工業団地等の事業の推進

◇平成25年度の主な取組

実施項目等 (実行計画より転載)	平成25年度の実績	左記に対する評価等
1 復興に向けた工業団地の事業の推進	いわき四倉中核工業団地第2期区域は、復興に向けた工業団地として事業推進を図るため、基本設計及び地質調査等の各種調査を行うとともに、分譲に向けPR活動等を行った。 工業の森・新白河A工区は、オーダーメイド方式の企業誘致活動を継続した。	概ね計画どおり実施
2 工業の森・新白河B工区の着実な事業の推進	平成26年2月に用地造成工事が完了し、同年3月に進出企業へ土地の引き渡しを行った。	計画どおり実施

◇平成26年度を取組方針

復興に向けた工業団地の事業推進のため、いわき四倉中核工業団地第2期区域は、各種調査事業を継続するとともに、関係機関と協議しながら開発手法の検討を進める。また、早期の分譲に向け、企業誘致活動を継続する。
工業の森・新白河A工区は、オーダーメイド方式の企業誘致活動を継続する。

【 目 標 2 】

造成済未分譲地の早期分譲

◇平成25年度の主な取組

実施項目等 (実行計画より転載)	平成25年度の実績	左記に対する評価等
1 工業団地の早期分譲	企業立地に対する優遇制度等を活用し、分譲の推進を図った。 ・平成25年度の実績 4社 10.0ha (田村3社、ビジネスパーク1社) ・平成25年度末の分譲率 87.2% (各団地の分譲率は下記参照)	概ね計画どおり実施 (H25年度末目標 88%)
2 住宅団地の早期分譲	復興関連の需要やハウスメーカーとの連携販売により、加速的に分譲の推進を図った。 ・平成25年度の実績 87区画 ・平成25年度末の分譲率 99.5% (205/206区画) ※残区画 1区画	前倒しで実施 (H25年度末目標 72%)

◇平成26年度の取組方針

工業団地の分譲は、企業立地に対する優遇制度等を活用し、地元自治体と連携した企業誘致活動の実施や企業誘致アドバイザーとの連携によるPR強化などを行い、本県の優位性を発揮しながら販売の推進を行う。
(住宅団地は、完売見込み)

◆工業団地の分譲状況

単位：ha

	分譲全体 面積	25年度末 分譲済面積	25年度末 分譲率
田村西部工業団地	64.1	60.6	94.5%
工業の森・新白河C工区	21.8	17.6	80.6%
新白河ビジネスパーク	8.9	4.5	50.6%
造成済工業団地計	94.8	82.6	87.2%

注) 各団地の分譲率は、㎡で算出しているため、表の数値(単位：ha)を用いて計算しても分譲率と合致しない場合あり

【 目 標 3 】

企業債償還財源の確保

◇平成25年度の主な取組

実施項目等 (実行計画より転載)	平成25年度の実績	左記に対する評価等
1 企業債償還財源の確保策の検討及び実施	復興・再生を目指す本県の取組への支援として、借換債の同意を総務省から得て、企業債借換えを実行した。 平成25年度企業債借換額：16億6千万円 未分譲地の早期分譲については、【目標2】に同じ	計画どおり実施 (H27年度まで借換えを予定)

◇平成26年度の取組方針

- 借換債に関して同様の取扱いとすることで、国及び関係部局との協議を継続する。
- 償還財源確保のため、未分譲地の早期分譲に努める。
- 償還財源の不足に伴う一般財源からの繰入れについて、関係部局と協議を進める。